

長中だより



第15号（平成30年1月12日発行）発行者 校長 小貫 崇明

【1月の生活目標】

- ・新年の抱負を立て、その実現のために意欲的に生活しよう。
- ※生活リズムの回復
- ※あいさつの徹底

〇まとめの3学期が始まりました！

新年明けましておめでとうございます。長沼中生、そしてご家族の皆さんは、おだやかな新年を迎えられたでしょうか。平成30年が、皆さんにとって輝ける充実した年になりますよう心からお祈りしております。



さて、いよいよ今年度最後の学期、3学期が始まりました。3年生は私立高校の推薦入試がすでに始まっています。中学校3年間で身につけた「心技体」のすべてを使って、立ちはだかる「進路」という高い壁を突破する3学期です。1・2学期を充実させてきた最高の3年生として、最高の結果を期待しています。

また、1・2年生については、飛び立つ3年生を手本として、長沼中の伝統継承と一人一人が自分の最大限の成長を実感できる3学期にしてほしいと思っています。

〇学校評価の結果から①「学校生活の充実感」

昨年12月に実施いたしました「学校評価アンケート」について、その結果がまとまりましたので、特徴のあるところを数回に分けてご紹介していきます。

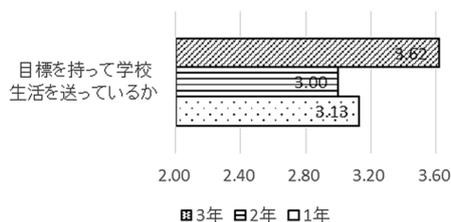
今回のアンケートは例年通り、生徒・保護者・教職員を対象として、ほぼ同じ内容で学校生活における満足度をA～Dで評価してもらいました。そして、A4点～D1点として回答を点数化してみました。つまり、平均の最高点は4点、最低点は1点ということになります。

まず、学校生活の充実感に関する質問に目を向けると、「目標を持って学校生活を送っているか」という質問には、生徒 3.25、保護者 3.28、教職員 3.17という結果でした。また、「学校生活に満足しているか」という問いには、同じ順番で、3.40、3.27、3.36でした。

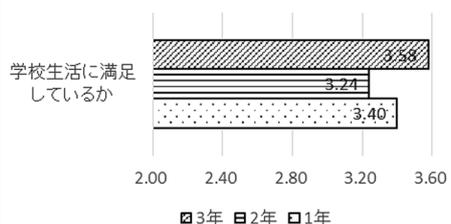
以上の結果から、長沼中学校の学校生活の充実感に関しては、生徒も保護者も教師もある程度満足していると考えられます。ただし、生徒の回答を詳しく調べてみると右の2つのグラフからもわかるように、学校生活の充実感には学年による差が若干ありました。

やはり、学校の中心となって活躍した3年生の充実感が高く、中堅である2年生は若干落ちる傾向があります。これは、2年生が現状に満足せず、次年度に向けて迷いつつも頑張ろうとする姿の現れと前向きに捉えたいと思います。私たち教師は、次年度の3年生が今の3年生を超えるような充足感が味わえるよう、そして保護者の皆様からもさらに満足いただけるよう、この学校評価をもとに次年度の教育活動を改善してまいります。

学校評価における生徒の学年比較①



学校評価における生徒の学年比較②



○本校におけるいじめ対策の現状と課題について

平成29年1月に発生した須賀川市内の中学1年生が自宅で自死するという重大事態について、先月12月25日(月)に須賀川市役所にて、記者会見及び臨時の小中学校長会議が開催され、いじめ問題専門委員会(第三者委員会)がまとめた報告書の内容が公表されました。それによると、今回の事案では、「いじめ」が自死を選択した大きな一因であったと判断されるという結論になっていました。



「学校は一人一人の子どもにとって、安全で安心できる場所、将来に向かって自分の多様な能力や技能を伸ばし、仲間とともに様々な可能性を広げる場所、未来の自分へつながる場所」と考えます。したがって、他からの「いじめ」により、その子どもの可能性や未来が「絶望」や「死」に向かうということは絶対にあってはならないのです。

しかし、残念ながら現実の生活の中では、どの学校にも「いじめ」が起きてしまう可能性は低くはありません。現代社会の抱える人間の心の闇が簡単には消せないように、学校における人間関係においても、子どもたちの心の闇が、配慮に欠けた言動による人権侵害や他への陰湿な攻撃等になって表出することもあります。そして、大人よりも人生経験の少ないことや感受性の鋭さなどから、子どもにおいて問題が一気に深刻化することもあるのです。

長沼中学校では、これまでも「いじめ」を未然に防ぐこと、「いじめ」が起きたら早期に対応・解決することを、職員全員で確認・共有し、取り組んでまいりました。実際、毎月行ってきたアンケート調査や日頃の生徒たちとのふれあいの中で、今年度認知した「いじめ」問題があり、現在スクールカウンセラー等との協力体制の中で、生徒に寄り添いながら対応し問題が解決に向かっていくところです。

さて、今回の重大事態を教訓に、長沼中では以下のような改善を進め、「いじめ」を防ぐ体制をさらに高めてまいります。保護者・地域の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

(1) 長沼中学校「いじめ防止基本方針」の内容を全教職員で再確認して、いじめ防止の実効性が高まるよう改訂を行います。

※ 改訂案ができた段階で、生徒や保護者の皆さんにも提示し、意見を求めます。

(2) 現在のいじめ事案や今後のいじめに関する調査等によって何か問題があった場合には、できるだけすみやかに可能な範囲で公表します。

(3) 教職員が生徒とじっくり向き合える時間の確保に努めます。

※ 部活動や学校行事の取り組みなどにおける休養日等を設定します。



★大切にしたい言葉(15) 「自分のない人ほど、自分を主張する」

この言葉を知った時、「自分のことかも」とドキッとしました。人間は弱いものです。どこか自分に自信の無い時ほど、「自分はこんなに考えているのだ」なんてアピールしてしまったり、最大限の努力をしてないのに、「私の努力をなぜ認めてくれないの?」なんていう態度をとってしまったり・・・過去を振り返ると心当たりがありませんか。でも、完全に自分というものを確立し完成された人間なんてそんなにはいないのではないかと考えると気が楽になりました。完全ではなくても、ちょっとした努力や頑張りをちゃんと見ている人、認めてくれる人がきっといると信じて、威張らず腐らず素のままでもいいじゃないですか。